

**「西宮消防署建替基本計画（案）」に対する
パブリックコメントの結果及び市の考え方について**

意見募集期間：平成29年12月8日（金）から平成30年1月15日（月）

消防局 総務部 企画課

「西宮消防署建替基本計画(案)」に対するパブリックコメントの結果及び市の考え方について

様式 3 号

平成29年12月8日（金）から平成30年1月15日（月）にかけて実施した意見提出手続（パブリックコメント）について、1名から7件のご意見をいただきました。ご意見の概要とそれに対する市の考え方を公表します。

■提出人数及び意見件数

①提出人数

（年代別・男女別）

年代	男性	女性	合計
40代	0	0	0
50代	0	0	0
60代	0	0	0
70代	1	0	1
80代～	0	0	0
未記入	0	0	0
合計	1	0	1

（居住地域別）

居住地域	本庁	鳴尾	甲東	瓦木	塩瀬	山口	市外	未記入	合計
人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1

（提出方法別）

提出方法	郵送	FAX	メール	持参	合計
人数	1	0	0	0	1

②意見件数

（意見項目別）

意見項目	件数
(1) 基本計画(案)について	6
(2) その他の意見について	1
合計	7

（回答分類別）

回答分類	内 容	件 数
①案に記載済	意見内容が既に案に盛り込まれているもの。	3
②意見を反映	意見を反映し、案を修正するもの。	0
③今後の参考・検討	案の修正はしないが、今後の参考とするもの。検討していくもの。	0
④対応が困難	対応が困難なもの、市の考え方と方向性が合致しないもの。	2
⑤その他	疑問・質問・感想など。	2
合計		7

「西宮消防署建替基本計画(案)」に対するパブリックコメントの結果及び市の考え方について

様式 3 号

(1) 意見項目名：「基本計画(案)」について

※回答分類「①案に記載済 ②意見を反映③今後の参考・検討 ④対応が困難 ⑤その他」

NO.	ご意見の概要	件数	市の考え方	案 頁・行	回答 分類
1	・駐車車間の確保が必要ではないかと思ます。	1	基本計画(案)では、駐車する車両の間隔を2.0m確保することで、車両の扉を開放しやすくし、迅速かつ安全に出動できる計画としています。	P 1 P 4	①
2	・火災などの再現実験装置が必要ではないかと思ます。	1	火災の再現実験が必要な場合は、関係機関と連携し、専門の施設を使用することで対応していきたいと考えています。なお、基本計画(案)では、焼損物を見分し出火原因を判定するための「鑑識室・危険物測定室」を整備することで、火災調査体制の充実を図る計画としています。	P 5	④
3	・職員の仮眠施設の充実は、緊急事態の発生に備える為には、ある程度の犠牲を払う必要があるかもしれません。	1	消防署では、常時職員が24時間体制で勤務するため、仮眠室は必ず整備しなければならない必要な施設です。	P 3 P 5	①
4	・ロープを張り渡す際の装置も火薬を使用して展張させるなどの装備も必要です。	1	基本計画(案)では、庁舎屋上を利用し、展張したロープを常設する訓練施設を整備する計画としています。なお、救助工作車には、圧縮空気を使用してロープを展張する資機材を配置しています。	P 2 P 5	⑤
5	・免震構造の採用は結構な事だが、現在の免震構造体には不安な部分もあります。	1	大規模災害時においても、消防活動を確保、継続するため、高い耐震安全性を備えた免震構造を採用する計画としています。	P 2	①
6	・建物の上層階に、緊急時の7日間給水など、市民への支援体制も検討してもらいたい。	1	消防署は、大規模災害時をはじめ有事の際に、全精力を投入し迅速な救助活動等を展開する活動拠点です。なお、市民への飲料水の供給などは、西宮市地域防災計画において別途定められています。	—	④

(2) 意見項目名：「その他の意見」について

※回答分類「①案に記載済 ②意見を反映③今後の参考・検討 ④対応が困難 ⑤その他」

NO.	ご意見の概要	件数	市の考え方	案 頁・行	回答 分類
1	・阪神淡路大震災時に自衛隊が携行していたパラボラアンテナの衛星電話が大きな力を発揮していた。消防局にも装備品として携行する必要があります。	1	大規模災害時をはじめ有事の際における通信手段の確保は、消防活動上非常に重要であり、消防局では無線機に加え、携帯電話や衛星電話を配置し、通信手段の多重化を図っています。	—	⑤